市民活動団体応援コーナー

このコーナーは、毎月１日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。
掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。
問広報情報課☎983・2620

三島市　市民活動団体応援　検索

５月１日号への掲載の申込みは、３月23日㈬までに、広報情報課
✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

▲市民活動団体応援コーナー詳細

文化

三島グロリア合唱団　団員募集 定期演奏会で一緒に歌いませんか？

今年10月23㈰に創立40周年記念演奏会を行います。曲目はモーツァルト作曲「レクイエム」とフォーレ作曲「レクイエム」をオーケストラ伴奏で歌います時毎週木曜日午後７時～９時場市民文化会館リハーサル室ほか講八尋和美さん費月4,000円（高校生以下：月2,000円）申・問土山☎972・2291

磁器人形～ヨーロッパから日本へ～ レースドール展

時３月17日㈭～22日㈫午前10時～午後６時（最終日は午後４時まで）場みしまプラザホテル・ギャラリープラザ（本町14・31）内国際公募受賞者作品展費無料問みしまプラザホテル☎972・2121

第26回フォトアート三島写真展

時３月23日㈬～27日㈰午前９時～午後６時（最終日は午後４時まで）場生涯学習センター３階市民ギャラリー費無料問斎藤☎971・2791

若草の会　第８回水彩画作品展

時４月７日㈭～10日㈰午前10時～午後５時（最終日は午後４時まで）場生涯学習センター３階市民ギャラリー内会員による水彩画の作品費無料問杉山☎988・2462

スポーツ・健康

三島ジュニアバドミントンクラブ 会員募集

時４月～令和５年３月毎週土曜日午前９時～正午場東小学校体育館費▶年会費：12,000円▶入会金：1,000円▶保険料：800円対新小学３～５年生定30人申３月３日㈭から三島市バドミントン協会ホームページで受付開始（http://mishima-badminton.com）問三島市バドミントン協会・野田☎090・6808・6165

ミニバスケットボール教室 生徒募集

時４月９日～令和５年３月18日（毎週土曜日）午前９時30分～11時30分場市民体育館、北上小学校体育館内基本練習、練習試合対新小学４、５年生定25人費１万円（会場、保険料など）申３月20日㈰までに往復はがきに①児童氏名、性別②住所③電話番号④保護者氏名⑤学校名を記入し渡辺憲治㊥411・0903清水町堂庭205・３問渡辺☎971・2055

初心者弓道教室

時４月６日～７月13日（毎週水曜日）午後７時～９時（全15回）場三嶋大社弓道場（大宮町２・１・５）費6,000円対18歳以上申３月28日㈪までに往復はがきに氏名・住所・生年月日・電話番号を記入し奈良信一㊥411・0842南町８・23問奈良☎973・4677

その他

オンライン講演＆シンポジウム「学校は誰のもの」～分け隔てのないインクルーシブ社会の実現を目指して～

時３月20日㈰午後１時～５時内改正バリアフリー法の講演と、県内で高校を目指している重度の障害を持つ生徒とその両親の人の話を聞きます費無料定先着50人申・問３月10日㈭までにアシストミル☎976・3432

ナースのお仕事フェア

時３月19日㈯午後１時～３時30分場プラサヴェルデ３階コンベンションホールB（沼津市大手町１・１・４）内地域の医療施設が仕事を紹介※お子様連れでの参加可費無料対看護職免許保有者で看護の仕事をしていない、または転職を考えている人。看護学生問静岡県ナースセンター☎054・202・1761

‘22登山・ハイキング講座 受講生募集

時３月26日㈯～令和５年３月26日㈰午後１時30分～３時30分場錦田公民館内山の楽しみ方、危機管理などを１年かけて座学と実技で学びます費年3,900円定22人申・問３月25日㈮までに根上☎971・9660

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、掲載した事業を中止・延期または内容変更する場合があります。

歴史の小箱 No.405

地区の歴史 ―新谷―

郷土資料館では、1月15日(土)より企画展「仁和寺と三島―宮様が結んだ縁―」を開催中！（～3月27日(日)）

郷土資料館（楽寿園内）☎971・8228

今回は中郷地域に位置する新谷についてご紹介します。

新谷地区は中郷温水池の南、源兵衛川の流末地域に位置します。ここから河川は中郷地域の耕地の灌漑用水として分流しています。このような立地の新谷は水の豊富な地域で長い間純農村地帯でした。

江戸時代当初は幕府領、後に二つの旗本家の相給地となり、村高は三百石でした。もとは東に接する青木村の一部で、そこから分村してできた集落のようです。新谷ではなく「新屋」と記されている文献も見受けられます。つまり、新屋という表記は新しい家屋、開発集落地であることをうかがわせてくれます。

農作業の都合から、集落の中心を流れる「御園堀」という用水路の両側に定住したものらしく、はじめは七～八戸と小規模な集落だったといいます。また、堀の東の古い集落を「畑屋敷」、西の分家・新世帯により形成された集落を「田屋敷」と呼んでいたようですが、この呼称について詳細を知る人は、今はいないとのことです。

新谷の氏神は稲荷神社で五穀豊穣の神である稲倉魂命を祀っています。元禄十六年（一七〇三）十二月、山城国（現京都府南部）から勧請したといわれ、宝暦十二年（一七六二）一月、同社は本山の京都伏見稲荷から位階を贈られています。

この神社はやや小高いところに鎮座しています。これは御園堀から分流する新谷用水の水路を作った時に出た土砂を盛りあげたものだといいます。地元の方の話だと、この小丘を「海苔塚」と呼ぶそうです。

稲荷神社の北方の村境には山神社があります。大山祇神を祀り、一月と九月の十七日には例祭が行われます。

山神社の境内には「土塚様」と呼ばれる石碑があります。これは江戸時代の地誌『豆州志稿』にある新谷の「山伏塚」であると思われます。現在、境内の片隅に石碑があり、「権大僧頭清国院」と刻まれています。しかし、地域の方から、子どものころはもっと大きな石碑があった気がするとの話も伺ったので、「土塚様」が現在ある石碑を指しているのかは定かではありません。もしご記憶の方は、郷土資料館までご連絡いただけると幸いです。

▲稲荷神社

「土塚様」といわれる石碑▶

ぼくのおじいちゃんおばあちゃん

当番　えもと　ゆうま　さん

僕のおじいちゃんは、植物や鳥を観察すること、そして、山登りが好きです。それから頭の中に辞書があるように知識が豊富です。僕が勉強のことなどを聞いたら必ず質問に応えてくれます。おばあちゃんは料理が得意です。作る料理は全て美味しいです。

毎週日曜日に僕の家でみんなで夕食を食べています。これからもみんなで病気に気をつけながら楽しく過ごしたいです。おじいちゃん、おばあちゃん二人ともいつまでも元気でいてほしいです。